



TASAKI ベルーレFC

磯崎 浩美 選手 柳田 美幸 選手
川上 直子 選手 大谷 未央 選手
山本 絵美 選手

2004年アテネオリンピック出場



夢と感動をありがとう!

【磯崎 浩美 選手】

オリンピックに参加して、日本と世界との差が少しずつではありますが確実に縮まってきている事を実感しました。これから女子サッカーがさらに普及し、環境が整う事を強く願います。四年後には是非メダルを!

【大谷 未央 選手】

アテネという最高の舞台上で戦えたことを誇りに思います。メダル獲得という大きな目標で望んだんですが、世界の壁は厚くまだまだと痛感しました。しかし世界との差は確実に近づいただけに悔しさが残る大会でした。今後はこの経験を国体、リーグでがんばりたいと思います。

【山本 絵美 選手】

アテネ五輪、初戦のスウェーデンに勝って、強い相手とも十分戦えるんだということもわかりました。しかし、最後にアメリカに負けてしまった事でもっともっと上を目指さなくてはと思いました。私自身この大会はとても悔しい大会でした。しかしその悔しさは次のリーグにぶつけていきたいと思っています。

【柳田 美幸 選手】

オリンピックという最高の舞台上でプレー出来た事をとても嬉しく思っています。五輪で1勝、決勝トーナメント進出という最低限の目標はクリア出来ましたが、まだまだ世界との差を感じた大会でもありました。この経験を生かし、日々世界を視野に入れてトレーニングに励んで行きたいと思っています。

【川上 直子 選手】

日本の実力はメダルを狙えるレベルだったと思う。しかしまだ世界での経験が少なくいざというときの余裕がなかった。これから三年後のW杯四年後の北京五輪までに経験をつめば世界と互角に戦えるようになると思う。私自身もう一度世界の舞台上にチャレンジしたいと思う。少年少女のみなさんも世界を目指してがんばってほしいです。



第16号 2004.10.1 (年4回発行)
発行所: 神戸市サッカー協会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通2丁目1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
TEL (078) 232-0753 FAX (078) 232-4647
発行人: 神戸市サッカー協会広報委員会
発行責任者: 榎原 徹夫 一部 100円

神戸のサッカー



女子

JFAレデースサッカーフェスティバル2004 ~FIFAワールドカップ™開催1周年記念事業~

8月1日、王子競技場において、~FIFAワールドカップ™開催1周年記念事業~「JFAレデースサッカーフェスティバル2004」が開催された。午前中は少女の部、午後は一般の部2部構成で行われ、講師は、日本協会ウイメンズカレッジインストラクターの加治・山口さん、日本協会キッズインストラクターの柿川さん。ゴールキーパーは、宝塚パニースのコーチの島田さんが担当した。そして、参加者達にサッカーの楽しみ、喜びを与えたのは、TASAKI ベルーレの選手16名と宝塚パニースの選手23名だった。

メニューは、①ボールを使った動きづくり②ボール集め競争③コーン倒しゲーム④パス・シュート⑤フリーガーとゲームなど。午前中の少女の参加者は81名、午後の一般参加者は38名、1人ひとりりが猛暑、しかも人工芝の中でも暑さに負けずに、フリーガーとボールを蹴った。走った。そして語った。喜びと感動、感動を味わった。少女を引率してきた山崎さん(多井畑FC6年母)「Lの選手は、働きながらサッカーを通して子供達に夢と希望を与えてくれました。」ありがとう、TASAKIと宝塚の選手たち。





第56回神戸市総合体育大会の決勝戦が7月22日(木)、王子スタジアムで行われました。決勝戦は、神戸市立西落合中学校と西神中学校との対戦になり、0対0のまま両校優勝となりました。PK戦の結果、第1代表が西落合中学校となり、この両校が神戸市代表として県大会に出場しました。西落合中学校はそのあと順当に勝ち進み、県大会は優勝・近畿大会は第3位という結果で、全国大会に出場しました。

中学校 (3種)

第56回 神戸市総合体育大会 〈西落合中学校〉と 〈西神中学校〉 両校優勝



まめでとろ

県大会優勝・近畿大会3位・全国大会出場。

4月の市民大会頃のチーム状態を考えると夢のような話です。市民大会敗退後、チームは少しずつ向上しました。神戸市総合体育大会では苦しい試合が続きましたが、選手は集中力を切らさず、勝利だけでなくよいゲームをすることを追い求めました。3年間システムやポジションを固定せず、全員が多量の経験を積んだことも好結果を生んだ一因だと思います。選手の頑張りはもちろん、それを支えてくださった地域の皆様、中体連をはじめとするサッカー関係者の皆様に心から感謝しています。

2冠を達成したイレブン

中学校のチームにとって最大の目標である「神戸市総体」を優勝することができ、本当に嬉しく思います。今年のチームは、神戸市内の大会(新人戦・市民大会・総体)のうち、2冠(新人戦・総体)を成し遂げました。苦しい時期もあっただけにメンバーの喜びはひとしおでした。この勝利は部員の方々の努力だけで決まらず、保護者の方、先輩・後輩として、数多くの練習試合をしていただいた相手チームによって支えられ、鍛えられた賜物です。今後も人への感謝の気持ちと、サッカーで培った何事にもチャレンジしていく気持ちを持ち続けてほしいと願っています。

神戸市立 西落合中学校 古賀 英貴

神戸市立 西神中学校 石川 靖彦

〈西落合中学校〉

背番号	PS	名 前	学年
1	GK	菊池 典央	3
2	FW	西田 慎治	3
3	MF	河田 祥平	3
4	MF	津村 佳成	3
5	MF	松本 拓真	3
6	MF	児玉 大輔	2
7	MF	河村 翼	3
8	MF	勝 良介	3
9	DF	脇谷 知幸	3
10	FW	大石 卓哉	3
11	FW	真壁 亨平	3
12	FW	福島 博文	3
13	FW	傍嶋 健太	3
14	FW	浦上 士郎	3
15	DF	田中 翔太	3
16	DF	福島 周平	3
17	MF	和田 洋平	3
18	GK	中山 和也	3

〈西神中学校〉

背番号	PS	名 前	学年
1	GK	渋谷 晃生	3
8	DF	碓本 辰郎	3
9	DF	岩田 匠	3
18	DF	瀬川 滙平	3
4	DF	竹下 周	2
20	MF	西田 亮太	3
7	MF	鳥井 踐	3
14	MF	佃 裕人	2
13	MF	羽田 一騎	3
10	FW	黒河 翔太	3
6	FW	鈴木 成一	3
11		松本 良太	3
2		松下 卓矢	3
3		松岡 秀人	3
5		小若 雅伸	3
12		新谷 広記	3
15		山本 翔平	3
17		永野 隆大	2
19		堀 和真	3
		宮下 賢考	3
		石田 圭佑	3
		野村 真宏	3
		柏原 航平	3
		執行 航	3
		池田俊一朗	3

ひっちゃいと

第19回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会は8月13日から22日まで福島県北津軽で行われ兵庫県からはフレスカ神戸とヴィッセル神戸が出場、フレスカ神戸がベスト8、ヴィッセル神戸がベスト16に入った。フレスカ神戸はグループ初戦柏レイソル盛岡(岩手)と対戦した。前半32分坂東(多井畑出身)の先制点でリード、後半追いつかれるものの田平(セレッソ大阪出身)のシュートが決まり突き放した。第2戦はFC ASA FUTURO(長野)に川岸(西須磨出身)の得点などで2-0で勝利し早くも決勝トーナメントを決めた。最終戦は2勝同士でともに決勝トーナメント進出を決めている川崎フロンターレとの対戦となった。前半フロンターレに先制点を許すも後半に反撃に出て平松(神戸FC出身)のゴールで追いついた。再びリードを許すものの終了間際のロスタイムで三浪のゴールで追いつき引き分け。この結果グループ2位となり決勝トーナメントに進出した。1回戦は関西同士の京都パープルサンガと対戦となった。前半13分吉田和功(須磨ナイス出身)のクロスボールを辻(ウイングス出身)が絡んだところを坂東が押し込み先制した。その後サンガの反撃にあうが守備陣がよく耐え辛勝した。準々決勝は優勝候補のFC東京を破ったマリノスが相手。FWにこの年代の代表大FW谷島を置き攻撃的に仕掛けるマリノスに対してフレスカはどうしても受身になってしまう。6分早くもフレスカの左サイドを破られその谷島に見事なヘディングシュートを叩き込まれた。この失点で開き直ったのが、フレスカも攻勢に出た。18分辻が中央から強引にドリブルで仕掛け、対応するマリノス守備陣を引きずるようゴール前に進ませた。そのままシュートを突き刺さした。ところがその1分後再び左サイドからクロスを上げられたとしても頭で合わせてリードを許した。その後マリノスが優勢に試合を進めロスタイムにも逆襲から失点敗れた。フレスカは3年前のベスト8以上の成績を目標に健闘したもののこの記録に並ぶ結果で終了した。

一方ヴィッセル神戸はグループリーグ第1戦で大宮アルディージャ(埼玉)に上谷(神戸FC出身)、栗原(北五葉出身)のゴールで快勝、第2戦でアビスパ福岡(福岡)に先制するも逆襲され苦しい展開となったがこの日2点目の上谷のゴールで追いつき引き分けた。最終戦はジュビロ沼津(静岡)と決勝トーナメント進出をかけて戦った。ともに勝てば可能性があっただけに白熱した試合となったが栗原の2得点で勝利しグループ1位で決勝トーナメント進出を決めた。1回戦の相手はコンサドーレ札幌(北海道)。22分上谷のゴールで先制前半リードで折り返した。後半5分同点ゴールを決められるものの3分後栗原の得点で再びリードした。このまま逃げ切ると思われた後半ロスタイム中央突破から同点に追いつかれた。試合は延長Vゴールにもつれたが、動きの止まった延長後半6分中央を再び破られ敗退した。両チームともさらに上位の可能性もあっただけにスタッフにとっては残念ではあるが、関西代表であり兵庫県の代表でもある神戸市の2チームが決勝トーナメントに進出したことは非常に喜ばしいことである。神戸市出身の選手が全国レベルのチームの仲間入りをしていることは証明できた。ただ、ガンバ大阪の準優勝で関西レベルの高さを見せつけた反面、ヴェルディ、マリノス、FC東京、グランパスなど高い質のサッカーに比べるると関西のチームの厳しいプレッシャーの中での技術の正確さという点で弱さが目についた。

(決勝トーナメント)

1回戦	フレスカ神戸	1-0	京都パープルサンガ(関西6位)
得点者	坂東		
	ヴィッセル神戸	2-3	コンサドーレ札幌(北海道)
得点者	上谷、栗原		
2回戦	フレスカ神戸	1-2	横浜F・マリノス(関東7位)
得点者	辻		

大会優秀選手 原田健太、上谷暢宏(以上ヴィッセル神戸)
なお、詳しい結果、優秀選手は下記ホームページに掲載しています。
<http://www.jcy-football.com/>

(フットボールクラブフレスカ神戸 天野泰男)

ちょっとおふさいど

日本クラブユースサッカー選手権大会 第19回(U-15)(2004.8.13~8.22)
Jヴィレッジ(福島県双葉郡)

FCフレスカ神戸ベスト8! Jヴィレッジ応援観戦記

8月14日早朝、サッカー選手権のJヴィレッジがある福島県に到着。子供たちの待つJヴィレッジまで、電車でGO!最寄り駅は、広野。ここは、童謡「汽車」の中の歌詞、♪籠を運って広野原のの広野。確かにトンネルを抜けると広い原っぱという風景。のどかで神戸ではお目にかかれない景色でしょう。Jヴィレッジに到着すると、早速建物の中にある「蹴球社」に必勝祈願へ。子供たちの試合時間が、刻々と迫ってくる。ハラハラドキドキ選手たち以上に親の方が緊張している。試合開始!予選第一試合vs柏レイソル盛岡。母たちの歌声が飛び交う中、選手たちは、はつらつとしたプレーで勝利をものにした。二日目ASA FUTUROいつもの調子で勝利。三日目川崎フロンターレ。決勝トーナメント進出が決まっていたので落ち着いて観戦できると思っていたのが、手に汗握る好ゲームで引き分けに。一日の休息日があり、子供たちは、プールでリフレッシュを。大会五日目決勝トーナメント一回戦、相手は強敵京都パープルサンガ。気を引き締め初心に戻し、いつもの調子でガンバレ!なんと虎の子の1点を守り、ベスト8へ。親は涙、涙の大感動。正直なところここまでかと思っていたので、ホテルも急遽予約を。うれしい誤算?かな。六日目ベスト4をめざして横浜F・マリノスと。何がいつもと違う表情。硬くなっているのが目に見えてわかる。親もどきどき度かピークにきている。応援の声もいつもと違う。やはり先制点を許してしま。得点チャンスも何度かあるものの、なかなか得点することができずにいるところ、同点の瞬間歓喜の声が。それもついに同勝越えし点を許してしま。いつもと違う。応援をしている親たちは、そう感じながら観戦する。結果は、1対3で惨敗です。しかしここまで頑張ったね。この地を流した涙は、今後の子供たちの糧になるだろうと感じました。そして何よりマイエロカードを大会を通じて一枚も出さずにフェアプレー賞をいただいたのはすごい。一週間のJヴィレッジツアー、親たちの修学旅行のようで子供たち以上に思いに残るかも?子供たちに感謝をしなければ。素晴らしい試合をありがとう!

FCフレスカ神戸 保護者(岡田 菜穂美)





ほいっする



審判・規律

二級審判になりました

2004年7月9日(金)の兵庫県サッカー協会審判委員会で、私は二級審判員の認定書とワッペンを頂きました。最終テストが行われたのは、5月23日(日)、大学女子リーグの武庫川女子大学vs大阪市大の主審と立命館大vs近畿福祉大の副審でした。めったに緊張することのない私でしたが、関西サッカー協会の方が来られ、周りの緊張感につられてしまい、少し緊張していました。そんな私の気持ちを普段通りにしてくれたのが、今までよく一緒に組んでた人が副審だったことと、武庫川女子大学の一方的な試合にもかかわらず、両選手が最後まで一生懸命プレーしていた気持ちでした。選手としてサッカーを引退した後、サッカースクールで指導したり、ヴィッセルガールとしてサポーターや選手の方々を見てきて、今まで以上にサッカーが好きになり、もっとたくさんの人にサッカーが好きになって、見ることを楽しんでほしいという気持ちになり、審判として一生懸命プレーしている選手のサポートができればと思うようになりました。最初は二級まで取ろうという気持ちはなく、少しでもいい審判になろうと思い三級の試験を受けたのですが、2006年の兵庫国体のこと、リーグの女性審判のことを知り、もっと上を目指そうと思いました。選手としてあまり結果を残せなかったため、次は審判として国体、リーグ、そしていつかはJリーグでも…。そのために自分自身審判を楽しみ、選手と一緒にピッチの上でいい試合をしたいです。

二級を取得して日々、重みや責任を感じています。今はサッカーの指導、タレントの仕事の中で審判をやっていく面でもしんどい時もありますが、周りの方々の応援や指導のおかげで頑張れています。最初の気持ちを忘れず、「審判は嫌われ役」のイメージを変え、さらなる目標のため頑張りますのでこれからも応援よろしくお願いします。
(的崎睦子)



三級審判取得おめでとう!



ぴっちさいと



社会人(1種)

セントラル神戸が8年ぶり2度目の天皇杯出場

天皇杯兵庫県代表を決める、第7回兵庫県サッカー選手権決勝戦が淡路五色台運動公園で行われた。

今年の決勝戦は大学勢が姿を消し、関西社会人リーグに所属するセントラル神戸と神戸FC1970(以下、神戸FC)の対戦になった。

試合は前半20分に、神戸FC岩田のシュートのこぼれ球を溝口が押し込み先制。対するセントラル神戸は、前半終了間際に2点を返して勝ち越す。後半に入ると、セントラル神戸黒川がセットプレイから2点を叩き出しダメ押し。

その後の神戸FCの反撃をPKによる1点に抑え、セントラル神戸が8年ぶり2度目の天皇杯出場を決めた。

4年連続で決勝まで進みながらも敗れた神戸FCは、来年への雪辱を誓っていた。



〈優勝 セントラル神戸〉



〈準優勝 神戸FC1970〉

神戸のサッカーを応援します

ケーニヒスクローネは「セントラル神戸」をサポートしています。

神戸のおしゃれな味
ケーニヒスクローネ
TOKYO・KOBE





ぴっちさいど



技術委員会

神戸市FA・コーチングスクール

今年度から神戸市FA・トレセンスタッフコーチングスクール改め『神戸市FA・コーチングスクール』を開催しています。

このコーチングスクールは、トレセンスタッフの指導実践の場だけでなく、神戸市サッカー協会第4種指導者・指導資格：神戸市初級・中級資格、JFA D級(旧少年少女指導員)のリフレッシュ研修を兼ね、毎回50名を超える指導者が集まり指導実践等の練習会を行っています。

トレセンスタッフでない方でもスクールに参加できます。実技はちょっとという方は見学だけでもかまいません。参加希望者・練習見学希望者は当日磯上グラウンドまでお越しください。

9月から毎月第2金曜日に、磯上グラウンドで『神戸市FA・コーチングスクール』を再開します。

みなさんもどんどん参加して新しい発見をしてみませんか。



は〜ふたいむ



医 事

運動する人もしない人もストレッチングを。

スポーツ前のウォームアップは筋の柔軟性を高め、傷害の予防に有効です。

まず、ゆっくりとしたペースのランニングを5〜10分間行い、血流、筋温、呼吸数、関節液の粘性、発汗を向上させます。

次に、10分間程度のストレッチングを行います。(体温を高めてから行うと効果的です。)ストレッチングは張りを感じるが痛みのない程度にゆっくりと行い、最終姿勢を30秒間維持します。(=静的ストレッチング)反動を用いると、筋・腱の損傷を起こすこともあり、危険性があります。静的ストレッチングが簡単で十分な効果が得られます。

スポーツ後のストレッチングも10分間程度行いましょう。関節の可動域をさらに高める効果と筋肉痛をやわらげる効果があります。

ストレッチングを週2回、5週間続けると柔軟性が高まるといわれています。日頃、あまり運動されない方はぜひ試して下さい。

(医事委員長 生田進一)



神戸のサッカーと健康をアシストします。

須磨区医師会
サッカークラブ有志

名 谷

てい小児科
(小児科・内科・アレルギー科)
☎078-792-5701
須磨区北落合3丁目28-3

益子整形外科
(整形外科)
☎078-797-3131
須磨区白川台6丁目23-2

妙法寺

高石内科クリニック
(内科・小児科・循環器科・消化器科・呼吸器科・放射線科)
☎078-741-2052
須磨区妙法寺字寺界地92-11

原医院
(内科・小児科・循環器科)
☎078-743-7300
須磨区横尾1丁目9-1

月見山・須磨寺

清本整形外科クリニック
(整形外科・リハビリ科・外科)
☎078-732-1213
須磨区天神町4丁目4-35

林産婦人科診療所
(産婦人科)
☎078-731-0730
須磨区行幸町4丁目2-7

村上眼科医院

(眼科)
☎078-731-0056
須磨区月見山本町1丁目5-26

新須磨病院

(各科・スポーツ外来)
☎078-735-0001
須磨区磯馴町4丁目1-6

坂 宿

梶川眼科医院
(眼科)
☎078-732-0091
須磨区前池町3丁目4-1

益子産婦人科医院
(産婦人科)
☎078-732-4103
須磨区戎町3丁目5-15

〈モットー〉
患者さんに優しく易しい病院

国家公務員共済組合連合会

六甲病院

〒657-0022 神戸市灘区土山町5番1号
TEL 078-851-8558 FAX 078-851-3906
http://kkrorjp/rokkou

〈診療科〉

内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・
外科・整形外科・リハビリテーション科・
緩和ケア(ホスピス)科・眼科・皮膚科・
泌尿器科・耳鼻咽喉科・放射線科・
東洋医学科・
健康管理センター(人間ドック)
スポーツ外来

〈六甲病院への交通〉

阪神御影・JR六甲道・阪急六甲から
神戸市営バス⑩六甲ケーブル下行き。
高羽町下車。陸橋渡る。徒歩5分





する~ぼす

「ユーハイム杯家庭婦人サッカー大会」を観戦して



さんを拝見し、驚きもしましたが、嬉しさも込み上げてきました。

神戸、兵庫は女子サッカーでは、日本のトップレベルにあることは全国的に評価されています。オリンピックの女子サッカーの代表に田崎ベルーから5人の代表を送り出していることはどなたもご存知のことでしょう。

また、田崎ベルーはLリーグと全日本女子サッカー選手権のチャンピオンになっていますし、国民大会の女子サッカーでは毎年好成績を上げ、昨年も優勝しています。姫路の日の本学園、神戸の啓明学園なども高校女子サッカー大会で常にトップレベルの成績を上げています。

これからも家庭の主婦、お母さんたちが少年少女のサッカーを支援していただくとともに、家庭集団の場でもその日のサッカーが話題の中心になり、神戸のサッカーのさらなる発展の力となる有能な若いサッカー選手の輩出の推進力になることを期待します。

ユーハイム体育スポーツ振興会の支援を得て開催された家庭婦人サッカー大会を見てこれまで神戸市サッカー協会が女子サッカーの育成発展に取り組んできた成果がここまで定着していることをうれしく思うとともに、それぞれのパートで取り組んでいただいている皆様に感謝致したいと思います。大会は2日間、初日は土のグラウンド、最終日は芝のグラウンドで行われました。

かなり暑さの厳しい両日でしたが、選手の皆さんは終始健闘し、ボールコントロール、ボディーバランスもよく、技術、戦術面も随分進歩していることが実感されました。今から20年以上前、ユーハイム体育スポーツ振興会の支援でママさんサッカー教室を磯上公園のグラウンドで、林幸男さんの指導でスタートした頃からずっと見てきました。その頃から存じ上げている岡部



一北 四郎氏
(神戸市サッカー協会副会長)



ひっさいと

小学生(4種)

第14回 全日本フットサル大会 神戸予選

8月7・8日、北神戸田園スポーツ公園で「第14回全日本フットサル大会神戸予選」が行われた。一次リーグ・二次リーグ戦を堅実に勝ち進んだ多井畑FCが、決勝で西神SCをPK戦で破り、見事優勝を飾った。

優勝：多井畑FC、準優勝：西神SC、3位：FCライオスJr、4位：小部キッズFC

〈多井畑FCキャプテン：小川貴裕〉

「キャンカップ敗退後、2チームに分けて必死に練習してきました。今回2チームの内僕たちだけが県大会に出場することになりましたが、16人全員で勝ち取ったものです。全員で県大会を勝ち、全国大会に行けるよう頑張ります。」

〈多井畑FC6年専任コーチ〉

「最後はPK戦という接戦でしたが、強豪チーム集まる大会で優勝できたことは、正直喜びたいと思います。5月のキャンカップの敗退を反省し、合宿や早朝練習にフットサル練習を取り入れた成果が出たと思います。県大会では、ファールで自滅しない等、しっかりと準備をして望みたいと思います。」

まめでとろ



〈優勝 多井畑FC〉



〈準優勝 西神SC〉



〈3位 FCライオスJr〉



〈4位 小部キッズFC〉

第3回 少女サッカー遊ぼう会

7月24日、しあわせの村で少年委員会女子部主催の「遊ぼう会」が開催された。

今回で3回目のこの催しは、少子化の影響で少女のサッカー選手が減少するなか、サッカーの楽しさを知ってもらいたいと、サッカーを知らない少女への勧誘を目的に小学3年生以下の少女で開催しているものです。市内80人、西宮から10人が参加した。

この遊ぼう会のために、友達を誘って参加した少女もあり、底辺拡大のため、ただ、開催するのではなく、よく開催したいと思います。神出SCの男子チームで活動している少女は、「楽しかった。」その保護者は、「年2回開催してほしい。」との要望もあった。

また、同じ今年で3回目の4・3年生の大会は、雨天中止。しかし、11月にも開催します。2年生大会も計画したいと思います。友達を誘って参加して下さい。





ひっさいど

高校生(2種)

平成16年度全国高校サッカー選手権大会神戸地区予選は、総合体育大会県ベスト8に勝ち残った滝川第二・育英・神戸弘陵・神戸国際大付属の4校を除く36校によって行われたリーグ戦(8月25日~31日)の結果、下記16校が勝ち上がり、県大会代表枠7校を目指し決勝トーナメント(9月19日~10月2日)を戦います。



〈平成16年度全国高校サッカー選手権大会 神戸市予選決勝トーナメント〉

	9/19	9/23	9/23	9/19	
A	神戸	灘 10:00	科学技術 15:40	神戸朝鮮	B
	灘	高塚 11:10	科学技術 15:40	市神戸工業	
	長田	須磨東 15:40	須磨東 14:00	須磨東	
	星陵			須磨学園	
C	須磨友が丘	高塚 11:10	灘 11:40	滝川	D
	兵庫工業	科学技術 14:00	高塚 9:30	伊川谷北	
	御影工業	科学技術 14:00	高塚 9:30	神戸高塚	
	兵庫			神戸高専	
Aの勝者	9/25		10/2		
Bの勝者	高塚 11:10				
Cの勝者	須磨東 14:30				
Dの勝者	高塚 9:30				



べんちさいど

【きょうゆう会主催 滝川第二サッカークリニック】



“お兄さんといっしょ!”

9月4日(土)、5日(日) 滝川第二高校サッカー部員によるサッカークリニックがきょうゆう会(滝二OB会・後援会)により開催された。「サッカー選手たちの交流を!」と内外からの希望の声が、今回実現しました。夏休み明けの土日に、サッカー少年たちを迎え学校のグラウンドで高校サッカーのお兄さんたちが実技指導。4日(土)は5チーム約80名、5日(日)には3チーム約40名のサッカー少年たちが参加した。日曜日は、開会式挨拶後部員の皆さんが3グループに分かれ、松岡コーチ、小森コーチ、荒川コーチの合図で「ドリブル」「ヘディング」「シュート」練習から始まり盛りだくさんのメニューで最後には「ミニゲーム」まで約3時間のクリニックに参加チームの少年たちはイキイキと眼を輝かせていました。「シュートの仕方もう一回教えてください」と少年にリクエストされた滝二部員のひとりには表情にジョークを交えてのシュートフォームを見せ会場はまた賑わいました。閉会式では、それぞれ参加チームから感謝の言葉と、部員代表の「忘れかけていたものを思い出させてもらえたようです」の言葉に「滝二のお兄さんたちに教えてもらって楽しかったし、おもしろかった!」とサッカー少年たちは声を弾ませていました。



最後に黒田和生監督からは「ご飯をたくさん食べてしっかり勉強してください!」とサッカー少年たちにあたたかい言葉と「きょうゆう会」の皆さんからのプレゼントを各チームに手渡されました。引率のお父さんお母さんも、「こんな機会に恵まれて子ども達にとって貴重な体験ができました!」と心から感謝していました。「サッカー選手たちの交流」の輪が広がって共に伸びていく姿、これからもどんどん期待したいですね!

神戸市サッカー協会 ホームページアドレス
<http://www.kobe-fa.gr.jp/>



ろっか〜る〜む

「神戸のサッカー」を応援して下さる方々募集!

暑い夏、アテネオリンピックは「なでしこジャパン」の初戦勝利とともに華やかに始まり、サッカーだけでなくスポーツの楽しさ観る人への感動がたくさんありました。女性アスリートの活躍を象徴するような、表紙TASAKIペルーレから代表出場の5名選手の皆さん。可愛い笑顔とともにハツラツとした伸びやかなプレー、そしてプレーオフも楽しげな様子は何より少女サッカー選手の励みになることでしょう!

女性二級審判員も誕生し益々女子サッカーが盛り上がるのが期待されますね。「年齢性別を問わず世代を超えたサッカー愛好家のつながり」を目標とした広報委員会は「神戸のサッカー」広報紙とホームページの併設でより一層神戸のサッカーの普及発展をめざしています。

「参加することに意義がある」といわれるオリンピック精神…サッカー愛好家の投稿・寄稿による参加型スタジアム(ステージ)「神戸のサッカー」は、お一人おひとりが主役です!選手・監督・サポーター…少年少女たちがいつも夢を持って頑張り、そして地元選手が活躍するとサッカーファミリーは皆嬉しいですね!金メダルの輝きより嬉しい笑顔、楽しい笑顔、エンジョイサッカー!秋の大会真っ盛りの皆さんに熱い応援よろしくお願ひします!

[by-S/F]